

会議録 (1)

会議の名称	平成 30 年度第 2 回飯能市下水道事業審議会	
開催日時	平成 31 年 2 月 8 日 (金) 開会 午前 10 時 閉会 午前 12 時	
開催場所	飯能市役所 別館 2 階 会議室 3	
議長氏名	内沼正実	
出席委員	内沼 正実、青木 茂、新井 茂、前田 悦子、嶋崎 季子 新野 代里子、永野 光祐、佐武 泰史	
説明者の 職氏名	上下水道部長 参事兼下水道課長 主 幹 主 幹 主 査 主 査	町田 靖 佐野 勇 加藤 智史 利根川 忠宏 土肥 伸光 永岡 久和
傍聴者の数	1 人	
会議次第	別紙	
配付資料	別紙	
事務局職員 職氏名	上下水道部長 参事兼下水道課長 主 幹 主 幹 主 査 主 査 主 任 主 任 主 事 主 事	町田 靖 佐野 勇 加藤 智史 利根川 忠宏 永岡 久和 土肥 伸光 真船 八洲 浦前 良平 都築 遼子 嶋下 朋樹

会議録 (2)

議事の概要 (経過)・決定事項
(1) 社会資本総合整備計画の事後評価について 社会資本総合整備計画の事後評価についての説明及び質疑応答
(2) 報告事項について 報告事項の説明及び質疑応答

会議録 (3)

	開会 午前10時00分
	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 委嘱状交付</p> <p>4. 議事</p>
会 長	議事 (1) 社会資本総合整備計画の事後評価について、事務局より説明願います。
計画担当リーダー	－ 事務局説明 －
会 長	説明は以上です。何か質疑はございますか。
委 員	<p>計画の成果目標において目標値に対して実績値が下回っている理由としては浸水対策の達成率があり、阿須汚水幹線等の優先度の高さから、汚水管きよ整備の事業費が増え、浸水対策については単年度に偏りを持たせず平準化したという説明でした。</p> <p>笠縫雨水幹線の事業計画は平成30年度から5か年で平成34年度までということですが、5か年の事業計画を実施する場合、補助金はどの年度から対象となり、市に交付されるのか、国庫補助金との関係を説明いただきたい。</p>
計画担当リーダー	<p>笠縫雨水幹線整備事業につきましては、平成29年度に設計を実施し、平成30年度から平成34年度までの5年間で工事を進めてまいります。このうち、平成30年度から平成31年度に亘る工事につきましては、国に補助金の事務手続きを行っております。平成31年度になりましたら、平成31年度から平成32年度に亘る工事を対象とした補助金申請の事務手続きを改めて行ってまいります。</p> <p>現時点で、補助金が市の要望額どおり交付されるかわかりませんが、遅滞なく事務手続きを行ない補助率1/2の補助金を確保したいと考えております。</p>
下水道課長	手続きをしている平成30年度から平成31年度に亘る工事の補助金につきましては、国から了承をいただいております。
会 長	他に質疑はございますか。
委 員	事後評価の実施時期の日付はいつになりますか。

計画担当リーダー	事後評価の実施時期は本日の日付を表示する予定であります。
委員	表の中で、B、C、Dという項目があるが金額が入っていない。これらは何を示すものなのか、また、同じく効果促進事業費の割合を算出する欄があるがこれは何を示すものか教えていただきたい。さらに、全体事業費の合計がA+B+Cで算出されるが、Dが含まれなくてよいのか教えていただきたい。
計画担当リーダー	<p>Aにつきましては、今回の整備計画で実施する基幹となる下水道事業となります。B、C、Dは、Aの事業に併せて実施することで下水道事業の効果増大や円滑化が図れる事業の事業費を記入するものでございます。Cは効果促進事業を示し、例として、笠縫雨水幹線整備事業と併せて行うことでさらに浸水対策効果が期待される事業のことをいい、事業費につきましては、全体事業費の20%が上限として決まっておりますので、確認のために、効果促進事業費の割合を求める欄が設けられております。Dにつきましては地籍調査が対象となっており、基幹事業に併せて行うことで補助事業として実施できるものでございます。</p> <p>Dは最近追加されたものでもあり、全体事業費には含めなくてよいとされております。B、C、Dについては、分かりやすいように説明を入れたいと思います。</p>
委員	事後評価書をホームページに掲載する場合には、市民に分かりやすく見てもらえる工夫をするとよいと思う。事業費が22億7,900万円かかるということは分かるが、下水道使用料、補助金、起債等の財源についても記載をした方がよい。事業規模は大きいですが、その事業費に対して収入もこれだけ見込んでいるといった安心材料が必要だと思う。
下水道課長	多額な事業費の内容がどうなっているのか、ホームページに載せる際には分かりやすく表現したいと思います。
委員	浸水対策が遅れた理由に事業の見直しを行った結果とあるが、説明であったように優先度の高い他の事業を進めたため、ということをも市民の方に伝えた方がよいと考える。事業が遅れたという単なるマイナス面ではなく、他の事業が進んだというプラス面があつてのことを、ホームページに掲載をするとよいと思う。
計画担当リーダー	ご意見ありがとうございました。
会長	ストックマネジメントについてお聞きしたい。施設を耐用年数どおりに更新しようとするとう莫大な費用が一度にかかると思うが、耐用年数どおりではなく、前倒して徐々に実施するということか。
計画担当リーダー	ストックマネジメントの考え方は、現在の下水道施設の状況を把握した上で、部品交換あるいは全体交換の判断を行い、将来の施設の状況や事業

	<p>費の予測を考慮しながら、下水道施設全体を機能維持していくものであり、施設や設備を耐用年数以上に使用し、更新費用を抑えることを基本方針としております。本市には 50 年以上経過している管きよや施設がいくつもありますが、施設の状態等を把握し、下水道施設の機能を損なわないようしっかりと維持してまいります。</p>
会 長	<p>他に質疑はございますか。 特にないようなので、事務局は質問や指摘のあった部分を整理し、対応いただくようお願いします。これもちまして、議事を終了いたします。</p>
下水道課長	<p>様々なご意見をいただきありがとうございました。いただいた意見をまとめ、事後評価書に反映し、県との協議に進めてまいります。 5 その他 (1) 報告事項でございます。</p>
事務局	<p>－ 事務局説明 －</p>
下水道課長	<p>報告事項について説明は以上です。ご意見等はございますか。</p>
委 員	<p>資料 16 ページ「4. 緊急時に備えた訓練の実施」は飯能市独自で実施したもののか。</p>
施設担当リーダー	<p>11 月 1 日の大規模地震対策訓練は埼玉県と共同して実施したものであり、1 月 30 日の停電対策訓練は飯能市独自に実施したものでございます。</p>
委 員	<p>停電対応訓練を実施してどうであったか。</p>
下水道課長	<p>停電対応訓練はブラインド方式で、事前に維持管理業者に場所や内容を知らせずに実施いたしました。訓練内容は、矢久橋、武蔵ヶ丘、原市場浄化センター付近にある 3 か所のマンホールポンプ場が対象で、電気の供給を職員が遮断するなどし緊急に臨時運転を行うものいたしました。臨時運転の対応として、飯能市浄化センターから発電機を運びましたが、発電機を車から降ろす際に手間取ったことがあったことから、改善していきたいと思っております。今後も維持管理業者とともに考えながら訓練を実施してまいります。</p>
委 員	<p>何か起こった時には、その後の対応が問われる。起こった後にどう対応するかをよく考えていただきたい。</p>
下水道課長	<p>ありがとうございました。他にご意見等はございますか。</p>
委 員	<p>資料 8 ページ「2. 下水道事業の PR」について、生活祭へ出店するのは何度目か。</p>
下水道課長	<p>出店は数年前から毎年参加しております。下水道事業の PR を行ってお</p>

	りますが、アンケートは今年で2回目となります。
委員	アンケートをとる際に、市民の方とコミュニケーションをとりながら、下水道未接続の方に対して接続のお願いをしてはいかがでしょうか。
委員	アンケート項目に下水道の整備地区か未整備地区かの選択肢を加えることで、接続の有無の数字がより具体的に見えてくるのではないかと。
委員	水洗化活動は、未接続世帯に公共下水道に接続してもらうため、下水道事業が行っている取組をもっと市民に見えるような方策をとってもらいたい。子どもや孫から下水道に接続したほうがよいという話が家庭の中でなされると、世帯主が接続しようかと考えたりするものである。臨宅も必要であるが、多くの人にとって分かりやすいパンフレットを作成するなど、新しい取組も検討してはどうか。国保の健診率はかつて低かったが、数年にわたる取組で県内上位の健診率にまで上昇している。水洗化率が毎年向上していることを、この審議会の場合なども利用してアピールしていくことが大事だと感じる。
下水道課長	工夫を凝らし、分かりやすい資料を作成していきたいと考えます。ご意見ありがとうございます。他にご意見等はございますか。
委員	アンケートの回答で、岩沢地区の下水道整備について要望があった。岩沢地区で昭和45年から整備が始まったと聞いているが、整備が進んでいない理由は何か。
下水道課長	本市の下水道整備は市街地を中心に始められましたが、岩沢地区や双柳南部地区は土地区画整理事業の進捗との絡みでなかなか進んでいないのが現状でございます。土地区画整理事業、道路事業、水道事業等と調整を図りながら下水道の工事箇所を決める必要があります。基本的には道路幅員を拡幅したうえで下水道を整備することになりますが、下水道事業だけで進められる箇所につきましては、下水道事業単独でも取り組んでおります。 資料8ページ「1.平成30年度下水道工事」のうち、⑱公共第2工区(岩南)については、西側の大山街道、東側の岩沢第二汚水幹線につきましてここ数年工事を進めてまいりましたが、その間にある当該箇所の整備が進んでおりませんでした。しかし、排水経路を変更することにより、今回整備できるようになったものでございます。 他にご意見等はございますか。 では、(2)その他について、事務局よりご説明申し上げます。
管理担当リーダー	平成30年度の安全管理教育の実施について報告いたします。 1つ目は、市指定下水道工事店や下水道工事請負業者に向けた安全管理講習会を実施いたしました。建設業労働災害防止協会埼玉支部事務局長を講師に招き、労働災害防止をテーマに、監督者の役割、職務や作業別のリ

下水道課長	<p>スク、防止策等について学びました。</p> <p>2つ目は、工事現場作業員や建設部など関係部署の市職員に向けた安全体感教育を実施いたしました。感電体感やVR（仮想現実）での墜落落下体感等を通して、危険を察する、予知する能力を磨き、事故を未然に防ぐことを目的に実施したものでございます。今後も事故ゼロをめざし、工夫した工事や維持管理での安全管理に努めてまいります。</p> <p>報告は以上でございます。</p> <p>本日は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>今後も、経営面では、より健全な下水道経営を目指し、事業では、未普及対策、地震対策、浸水対策、老朽化対策を推進し、持続可能な下水道事業、より安全安心な下水道事業を目指すとともに、水道事業、区画整理事業、道路事業などとも連携し、庁内一丸となって取り組んでまいります。</p> <p>委員の皆様方には、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、平成30年度第2回飯能市下水道事業審議会を閉会とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">閉会 午前12時00分</p>
-------	--

議事の内容・概要を記載し、相違ないことを証するためここに署名
します。

平成 年 月 日

議長の署名

委員の署名
